

# 株式会社フィスコ2020年12月期 第2四半期決算説明資料

---

2020年8月14日



Copyright(c) 2012 by FISCO Ltd.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.  
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

## I . 2020年第2四半期連結業績概要

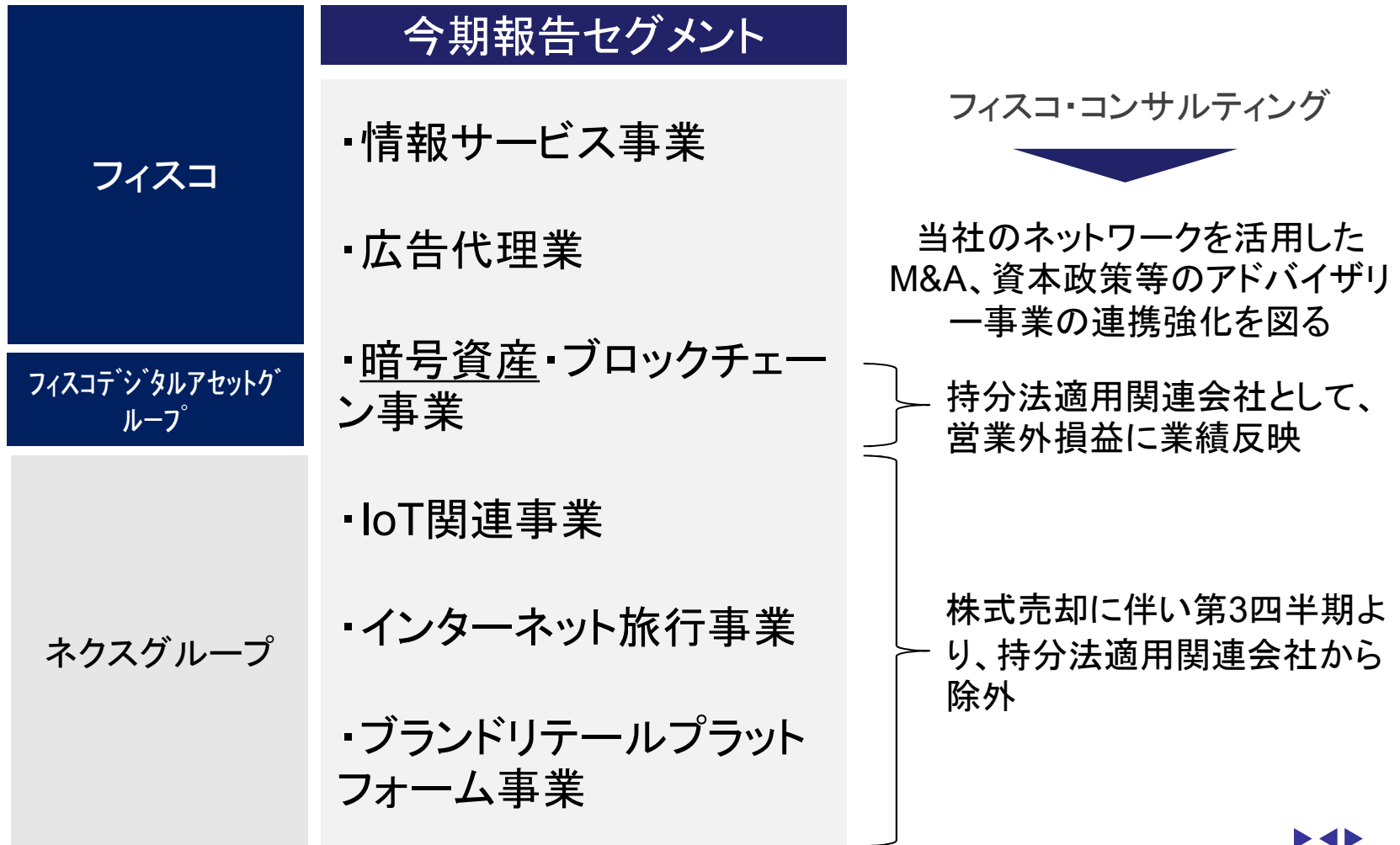
## II . 事業計画達成に向けた取組み

---

## 2020年第2四半期連結業績概要

## 連結業績ハイライト(報告セグメント)

ネクスグループ株式売却に伴い、持分法適用関連会社から除外。また、連結子会社の株式会社ヴァルカン・クリプト・カレンシー・フィナンシャル・プロダクツを「株式会社フィスコ・コンサルティング」へ商号変更



連結業績概要

当第1四半期に引き続き、①利益率の高い案件の獲得、②営業効率の改善を進め、利益面では大幅に改善。またネクスグループ株式売却による特別利益の計上で、当期純利益はプラスで着地

単位:百万円

	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	対前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高※	5,161	449	▲4,711	▲91%
今期報告セグメント売上高	546	449	▲97	▲17%
営業利益	▲533	▲96	436	—
経常利益	▲745	▲113	631	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲758	27	786	—

※2019年12月期第2四半期数値は、ネクスグループ連結数値を含む

前期比で利益率・利益額改善と、最終黒字化を達成

連結業績概要(セグメントごとの業績推移)-利益率・利益額の改善

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、受注時期の見直しや失注により前期比で売上は減少したものの、利益率の高い案件獲得と営業効率の向上施策が奏功し、前期比で増益を実現

単位:百万円

	2019年12月期 第2四半期		2020年12月期 第2四半期		対前期差異	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
情報サービス事業	480	45	418	65	▲62	20
広告代理業	52	▲6	26	▲2	▲26	4
仮想通貨・ブロック チェーン事業	14	2	4	4	▲10	2

**営業効率の向上施策により増益**

- 下期も引き続き、テレワークの促進、固定費の削減等により、さらに20百万円超の費用削減が見込まれる

## 連結業績概要(計画対比)

新型コロナウイルス感染症の影響により売上は計画比で若干減少したものの、高利益率案件が寄与し、各利益は通期計画を上回る実績で進捗

単位:百万円

	2020年12月期第2四半期		計画対比
	(計画)	(実績)	
	金額	金額	達成率
売上高	462	449	97%
営業利益	▲98	▲96	—
経常利益	▲156	▲113	—
親会社株主に帰属する当期純利益	▲158	27	—

・季節性の高い大企業向け統合レポートやアニュアルレポート案件の検収時期が第3四半期以降となり、下期偏重傾向で売上の約70%を占める

・2020年4月、自社発行トークンのフィスココイン(FSCC)売却およびネクスグループ株式売却による売却益計上

**計画以上の  
利益水準で  
推移**

連結業績概要(自己資本比率改善)

前期末に比較して、手元流動性の確保に加えて、自己資本比率も順調に改善しており、安定的な財政状態を維持

単位:百万円

	2019年12月 期(前期末)	2020年12月 期第2四半期	増減	増減率
流動資産	386	452	82	122%
固定資産	1,833	2,254	421	110%
資産合計	2,203	2,707	504	123%
流動負債	336	289	▲47	▲14%
固定負債	1,080	1,031	▲48	▲5%
負債合計	1,416	1,320	▲95	▲7%
純資産	786	1,386	600	176%

流動性比率

110%



156%

自己資本比率

36%



51%



---

## 事業計画達成に向けた取組み

## 1. 事業計画数値目標

単位:百万円

	2020年12月期
売上高合計	1,246
情報サービス事業	1,138
広告代理業	108
仮想通貨・ブロックチェーン事業 ※	—
営業利益	156

## 2. 目標の実現に向けた具体的な諸施策

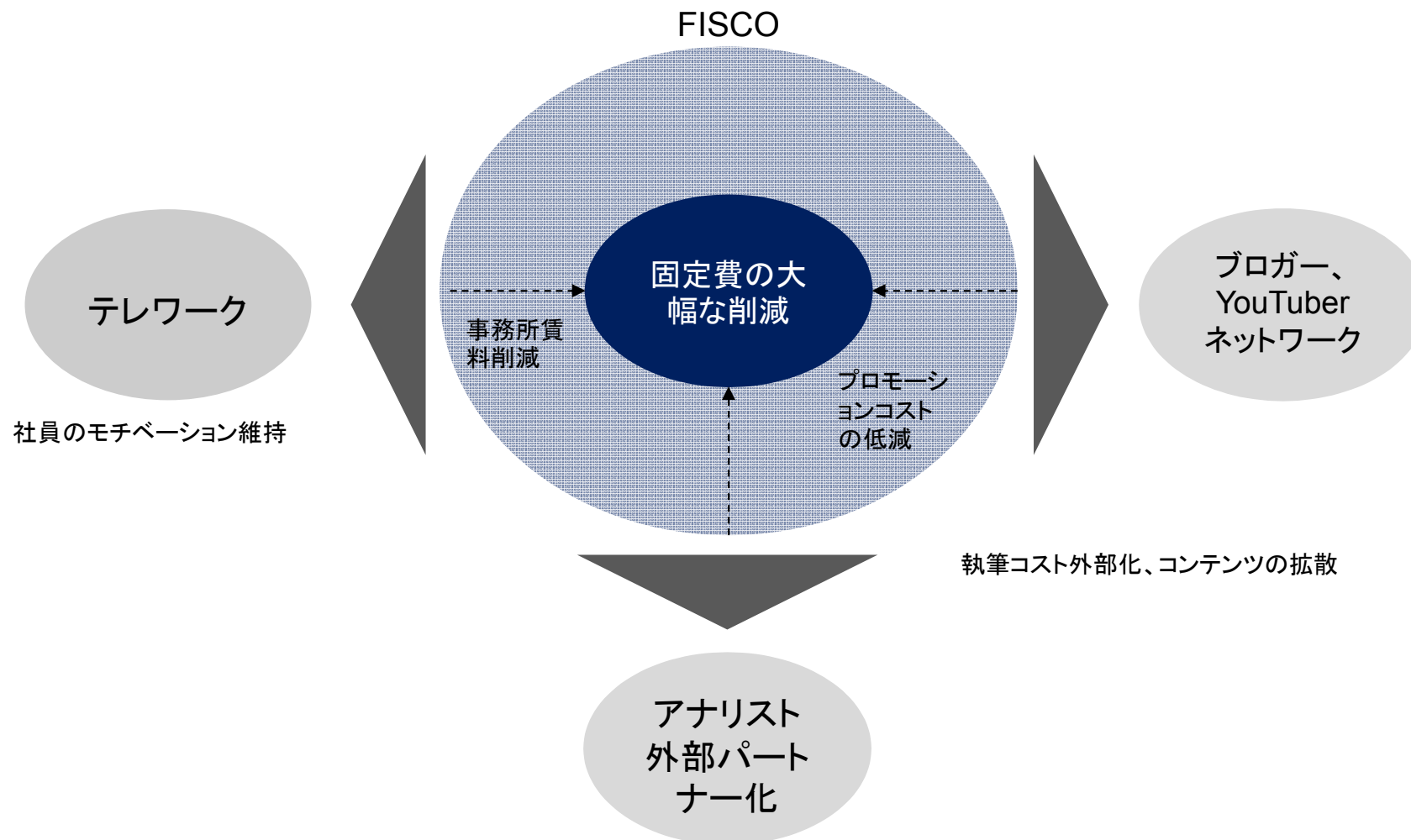
- ① 個人投資家向けコンテンツ拡販の推進、投資教育・金融経済コンテンツサービス強化
- ② 仮想通貨(暗号資産)の情報配信、機関投資家向けコンテンツの新規販売
- ③ スポンサー型アナリストレポート(企業調査レポート)営業推進強化
- ④ 広告媒体提案力の強化や制作プロセス改善
- ⑤ クシム社との連携によるオンライン会社説明会等設営事業
- ⑥ クシム社との連携による社外取締役派遣事業
- ⑦ 管理体制のさらなる強化(組織横断的な体制強化を推進)

※フィスコ仮想通貨取引所(以下「FCCE」)は、当社持分法適用関連会社のため、業績については営業外損益に計上されます。

2020年2月12日にFCCEが運営する2つの仮想通貨取引所「フィスコ仮想通貨取引所」および「Zaif」を統合し「Zaif Exchange」といたしました。また、2020年3月6日に同取引所にて、新規口座開設受付再開をいたしました。

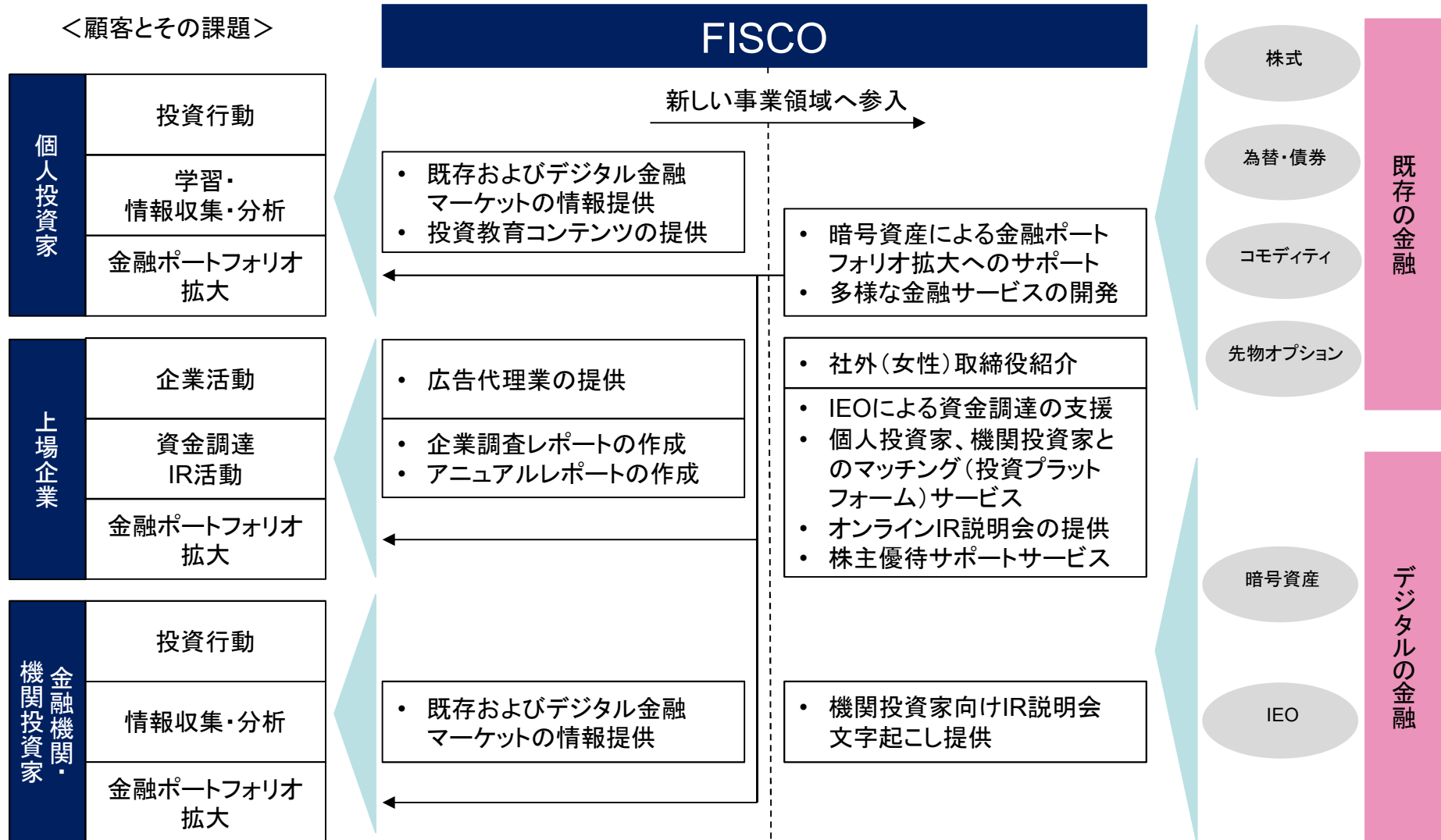
## コスト削減とデジタル時代に適した組織への転換

従業員のテレワーク推進、ブロガーやYouTuberも含めたアナリスト外部パートナー化および外部パートナーのコンテンツ拡散により、固定費の低減を図るなど、デジタル時代に適した組織への転換を推進する。



## フィスコの事業戦略(展開サービス)

既存の金融分野におけるサービス提供を継続しつつ、培ったノウハウを転用し、デジタル金融分野も含めて新規サービスの提供にチャレンジする。



参照)2020年3月30日株主総会事業説明会資料

## 既存の情報配信に加え、投資行動の新たなニーズの掘り起こし

＜顧客とその課題＞			
個人投資家／機関投資家	投資行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube の「FISCO TV」で開始</li> <li>・少子高齢化に合わせた投資教育</li> <li>・アナリスト養成講座</li> </ul>	<p>Vtuber(ブイチューバー)アナリストの募集を開始</p> <p>株式会社クシム(旧アイスタディ株)とアナリスト養成で業務提携強化</p>
	学習・ 情報収集・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報端末を通じた情報配信に加え、個別に金融・経済情報を配信</li> </ul>	 <p>海外の機関投資家向けに、金融情報を提供を開始</p>
	金融ポートフォリオ拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暗号資産に関する関連コンテンツ拡充</li> <li>・「クラブフィスコ」で決済通貨として「フィスココイン」を採用</li> <li>・「フィスココイン」のプロトコルを「Counterparty」から「Ethereum」の「ERC20」への移管</li> </ul>	<p>「仮想通貨ナビ」等を利用した関連情報の配信</p> <p>「Ethereum」に移管することにより、送金時間が10分から17秒へ大幅に短縮</p>

## 支援先企業のIRに関する様々な課題をワンストップで提供し、新たな収益モデルを構築

<顧客とその課題>

上場企業	企業活動
	資金調達 IR活動
	金融ポートフォリオ拡大

・社外(女性)取締役紹介・育成etc

株式会社クシム(旧アイスタディ(株))  
と紹介業務およびIR動画分野で業務提携



上場企業向けハイブリット型バーチャル株主総会(参加型)支援業務を展開

・株主総会/IR説明会のリアルタイム動画配信および動画の編集・制作サービス

・株主総会、IR説明会の文字おこしサービス

・議決権行使、株主優待、ステークキングアプリケーション開発



・IR、インターネット広告を組み合わせ合わせた認知施策に関するサービス  
・「フィスコアプリ」等を活用した、投資家向けの広告配信モデルの共同商品開発

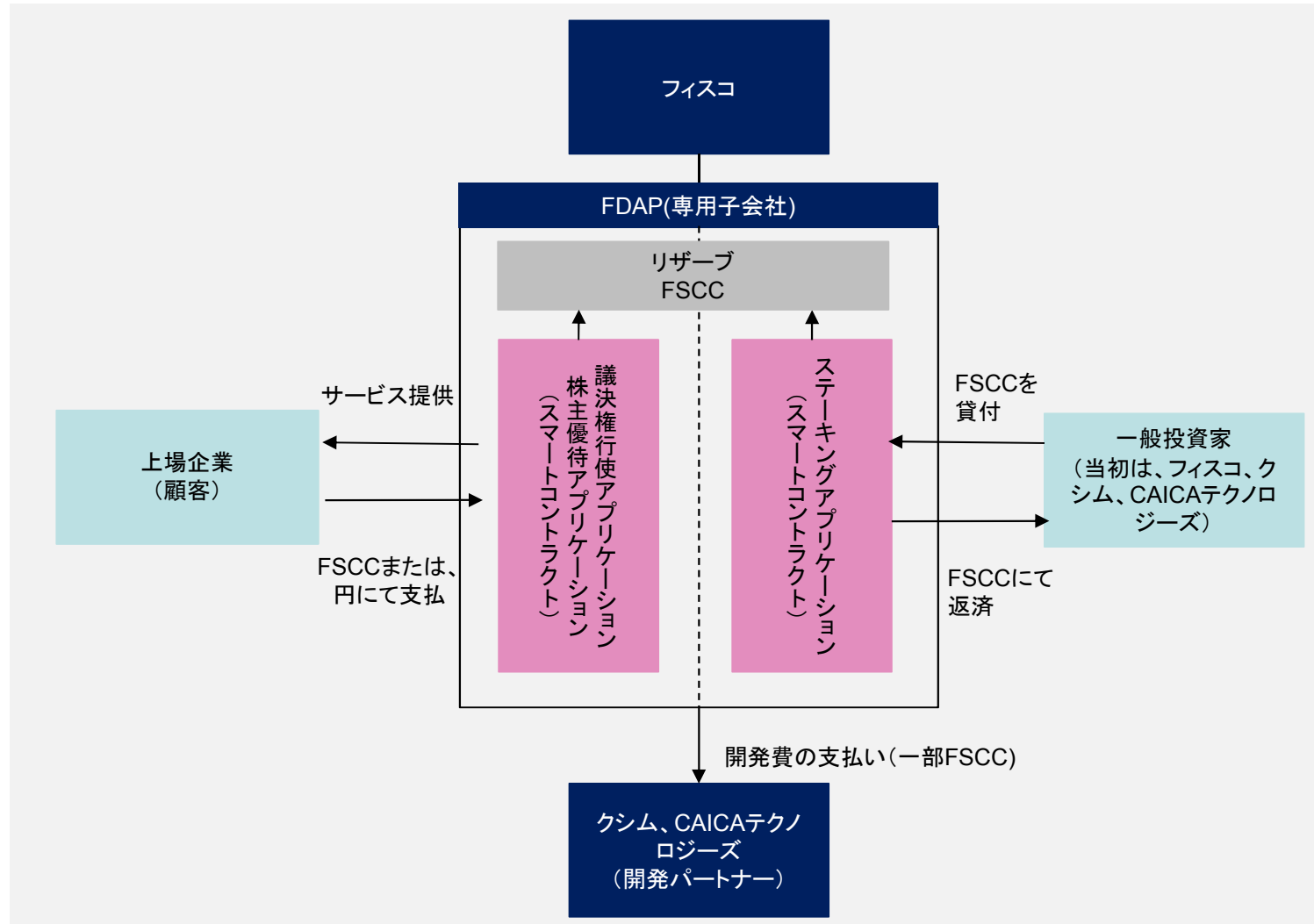
株式会社SEMエージェンシーとインターネット広告サービスに関する業務提携

SEM Agency



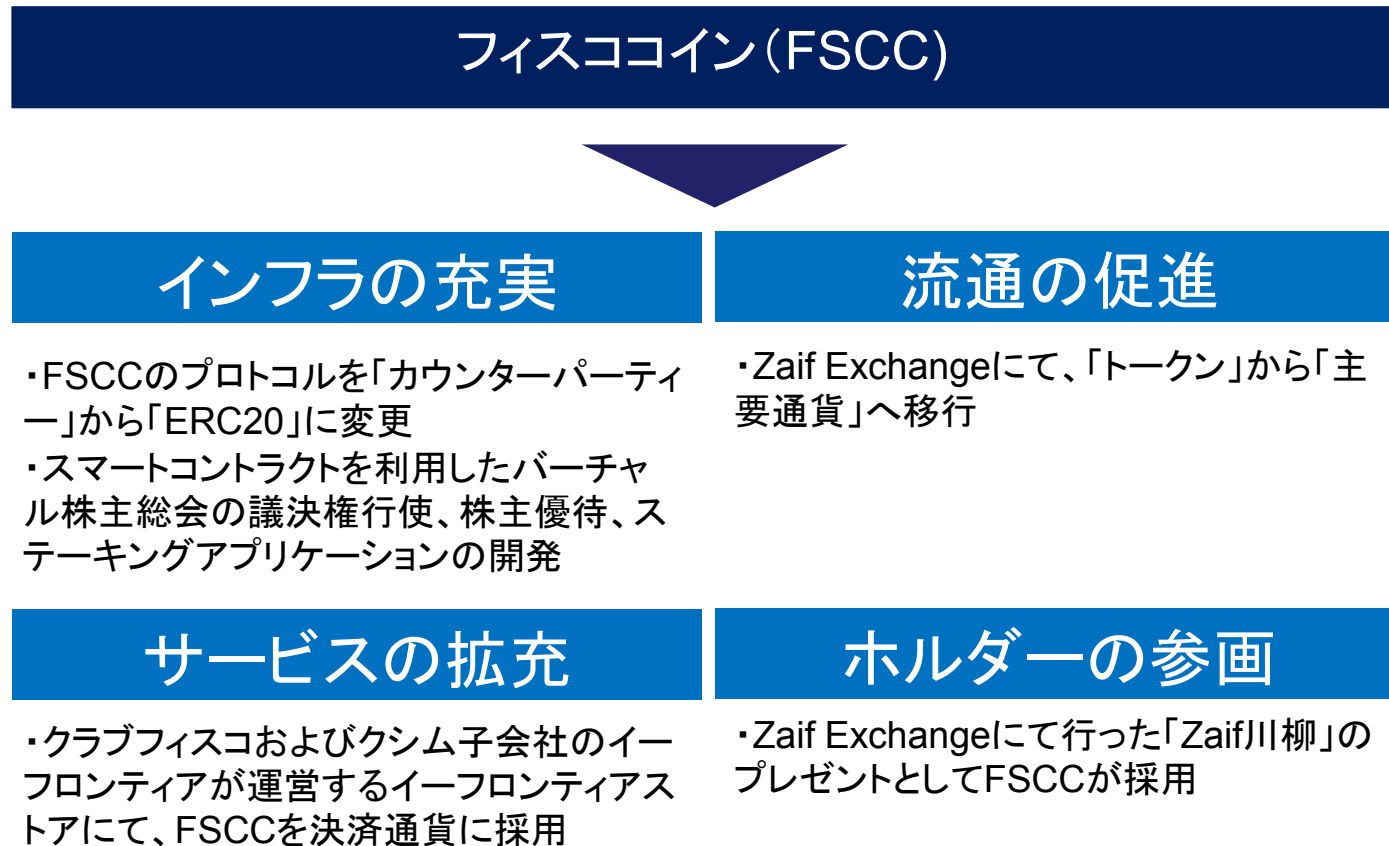
## バーチャル株主総会の議決権行使、株主優待、ステーキングアプリケーション開発に着手

クシム、CAICAテクノロジーズを開発パートナーとして迎え、スマートコントラクトを利用したアプリケーション開発を行い、フィスココイン(FSCC)を活用するアプリケーションのプラットフォームを構築。



## フィスココイン(FSCC)経済圏の拡大

FSCCの価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上を目指す。同時に、ブロックチェーン技術の適用に起因する金融・価値革命の時代を見据え、暗号資産／トークンを活用した規範的な事例を生み出し、デジタル技術の進展が切り開く未来、健全な資本市場の形成に貢献





本資料の取り扱いについては、株式会社フィスコに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。

これらの記述は、当社が本資料の作成時点において入手した情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。

これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合レポート等をご参照ください。

本資料における将来に関する記述は、本資料の作成時点のものであり、本資料の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本資料で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。